

会議議事録

事業名	令和7年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業 (4) 職業実践専門課程等の充実に向けた取組の推進①社会的評価の一層の向上のための共通基盤整備の推進
代表校	一般社団法人全国専門学校教育研究会

会議名	第1回事業推進委員会
開催日時	令和7年7月22日(火) 15:00~17:00
場所	リファレンス西新宿大京ビル貸会議室
出席者	委員対面：五十部 昌克、稲永 由紀、原田 大五郎、冨田 伸一郎 松本 晴輝、沖 直彦、鈴木 弘明、秋本 泰行 計8名 委員OL：氏部 正 計1名 請負業者：飯塚 正成 計1名 オブザーバOL：岡村 慎一 計1名 合計11名
議題等	○本事業の概要（五十部） ・本プロジェクトは、専修学校における質保証の取り組みを支援するための委託事業で、3年計画の最終年度となる。 ・昨年度の事業や研究を踏まえて最終年度の成果を発揮することを目指している。 ・プロジェクトには5つの主要テーマがあります： - 自己点検評価および運用ガイドラインの作成 - 中期計画策定手順書の作成 - 学校関係者評価委員会の運用ガイドラインの作成 - 内部質保証人材の育成講座の開発 - 内部質保証人材育成講座を担当する講師の養成講座の開発 ・2025年度（最終年度）には、これら5項目についてセミナー等を開催し、フィードバックを受けて完成させる。 ○自己点検評価および運用ガイドラインの説明（五十部） ・プロジェクトの主要なタイムラインとマイルストーンは以下の通り。 ・現在は3ヶ年計画の最終年度（2025年度） - 8月第2週：リスト確認完了予定 - 8月後半：FDとSDの計画を一括して作成

<ul style="list-style-type: none">- 8月末：案内発送予定- 9月（東京）・10月（福岡）・自己点検評価および学校関係者評価委員会運用ガイドラインの講座開催- 9月2日：次回委員会（15時から、東京）- 9月末～10月：内部質保証人材育成講座の実施- 11月（東京）・12月（福岡）：中期事業計画策定の講座開催- 11月頃：内部質保証人材育成講座担当講師養成講座の開催 <p>○リスク評価</p> <p>プロジェクトにおける主なリスクと対策は以下の通りです：</p> <ul style="list-style-type: none">・第三者評価に関する項目数が激減することについて言及し、これは多くの学校に第三者評価に取り組んでもらうための措置であると説明。（五十部）・予算面で厳しい環境に直面している、費用等は役割のある担当者に予算執行を予定。（飯塚）・会場費の値上げについて懸念を表明し、市内の会場やホテルの利用が難しくなっている。（飯塚）・出張に関する厳格なルールについて説明。当日の移動と翌日午前中の帰路を推奨。また、宿泊費の上限（東京：19,000円、福岡：18,000円）を超える場合は支払いができないと注意を喚起。 <p>○ツールとリソース</p> <p>プロジェクトで使用するツールとリソースは以下の通りです：</p> <ul style="list-style-type: none">・自己点検評価表および運用ガイドラインのPDFを作成し、Slackで共有している。（五十部）・内部質保証人材育成講座の事前学習用に、LMSを活用したオンデマンド動画（6時間）を作成する予定。（五十部）・動画コンテンツの品質を担保するため、トップページのデザインや冒頭20秒の重要性を強調し、プロの力を借りることを提案。（飯塚）・アンケート調査にはGoogleフォームを使用する予定。（五十部）・文科省から公開された「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考資料として活用する。（五十部） <p>○成功の基準</p> <p>プロジェクトの成功基準は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none">・セミナー等を開催し、フィードバックを受け、それを基に5つの主要テーマの成果物を完成させることを目標とする。（五十部）・セミナーの目的は、作成した資料の検証と改善点の収集。受講者ア

	<p>アンケートを通じて検証作業を行う。(五十部)</p> <ul style="list-style-type: none">・プロジェクトの最終的なアウトプットとして、以下の5つの成果物を作成する。(飯塚)<ul style="list-style-type: none">- 自己点検評価ガイドライン- 中期事業計画ガイドライン- 学校関係者評価ガイドライン- 内部質保証人材育成のプログラム教材・カリキュラム- 講師養成の教材・カリキュラム・これらの成果物は、印刷物またはホームページでアクセス可能な形で提供する。(五十部) <p>○今後のステップ</p> <p>次のステップとして以下の行動計画を決定。</p> <ul style="list-style-type: none">・自己点検評価および運用ガイドラインの内容を詰め、Slack にアップロードして委員からのフィードバックを求める。(五十部)・FD セミナーの内容について今週中にまとめ、泉田先生と調整する。(五十部)・内部質保証人材育成講座のオンデマンド動画は、8 月中に完成させる必要がある。(五十部)・次回の委員会は9月2日(金)15時から東京で開催。(五十部) <p>○アンケート用紙について</p> <ul style="list-style-type: none">・自己点検評価表および運用ガイドラインに関するものは1週間以内に意見を集約し、内部質保証人材育成研修に関するものは次回委員会で検討する予定。(五十部) <p>○質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none">・自己点検評価表の形式は昨年の成果として出されたものと大きく変わるのか?(沖)<ul style="list-style-type: none">→文科省から出された新しいガイドラインに基づいて項目が変更され、項目数が大幅に減少していると説明。(五十部)・第三者評価との関係はどうなるのか?(稲永)<ul style="list-style-type: none">→文科省のガイドラインで第三者評価の項目も明確に示されており、項目数は従来より大幅に減少していると説明。これは多くの学校に取り組んでもらうための措置であると考えている。(五十部)・FD セミナーと SD セミナーの内容と対象者の違いは何か(原田)<ul style="list-style-type: none">→FD は教授団を対象とし、SD は教職員を対象としている。今回の
--	---

(様式)

	<p>セミナーは、実際にはマネジメント層を対象としている。(五十部)</p> <ul style="list-style-type: none">・内部質保証人材育成講座のファシリテーターの役割は何か？(飯塚) →グループ議論の進行をコントロールし、各グループに張り付いてリーダーとして機能する役割である。(五十部)・講座の形式は1日で実施するか、1泊2日にするか？(飯塚) →6時間の講座について、1日(10時~17時)で実施する方向で検討されていますが、地域特性や参加者の移動を考慮する必要があります。(五十部)
配布資料	

以